

別記第2号様式

令和3年度  
北海道高等学校PTA連合会「高校生と語るつどい」事業  
実施報告書

令和3年10月27日

北海道高等学校PTA連合会 会長 様

北海道高等学校PTA連合会 釧路 支部  
支部長 山崎 正諭  
(当番校名 武修館高等学校 )

本事業が、令和3年10月16日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

- (1) 期 日 令和3年10月16日(土曜日) 9時から  
令和3年10月16日(土曜日) 12時まで
- (2) 会 場 釧路市生涯学習センター 802・803号室
- (3) 実施形態  
・ ワールドカフェ方式 ・ 従来方式
- (4) 参加者等  
ア 参加学校 8校  
(校名：北海道釧路工業高等学校・北海道釧路湖陵高等学校・  
北海道釧路北陽高等学校・北海道釧路明輝高等学校・  
北海道白糠高等学校・北海道釧路東高等学校・  
北海道標茶高等学校・武修館高等学校)

イ 参加者総数 32名

| 生徒数 | 引率数 | 保護者数 | 運営者数 | その他 | 合計  |
|-----|-----|------|------|-----|-----|
| 15名 | 3名  | 4名   | 7名   | 3名  | 32名 |

(5) 事業内容

ア 事業の概要

- (1)開会式 ※司会：矢内 知也(武修館高等学校PTA副会長)
- ①来賓挨拶 北海道高等学校PTA連合会会長 海東 剛哲 様
- ②支部長挨拶 北海道高等学校PTA連合会釧路支部 支部長  
武修館高等学校PTA会長 山崎 正諭
- ③来賓紹介 北海道高等学校PTA連合会会長 海東 剛哲 様  
北海道高等学校PTA連合会事務局長 井村 美彦様
- ④ファシリテーター紹介  
NPO団体 NEONE 代表 馬場 航平様

## (2)グループ討議

- ①参加生徒・保護者を6つのグループに分け、ファシリテーターの指示のもと3つのサブテーマについてワールドカフェ方式で話し合う。
- ②出し合った意見を付箋に記入して、テーブル上の模造紙に貼る。
- ③最後に移動したグループで意見をまとめ、グループごとで発表し、全体で共有する。
- ④ファシリテーターによるまとめ・話し合った内容の深化。

## (3)閉会式

- ・北海道高等学校PTA連合会釧路支部 事務局当番校挨拶  
武修館高等学校長 馬場 保孝

イ 講師 馬場 航平氏 (NPO 団体 NEONE 代表)

ウ テーマ「コロナの時代をどう生きるか」

サブテーマ(1)コロナだから気付けたもの

- (2)自分たちはどう学校生活を過ごしたいか。
- (3)未来→今の自分へ声をかけると？

## 2 事業実施による成果

- ①コロナ禍で学校行事等が減少している中、普段交流が少ない生徒・保護者が話し合い、お互いの立場から意見を述べ合って共有する時間が持てたことは有意義だった。
- ②生徒の発表からも「初めて会った人といろいろな話ができ面白かった。」「良い経験ができた。」といった声が聞かれ、短時間でも何かを吸収し成長につながる経験ができたように感じる。
- ③ワールドカフェ方式での話し合いの方法が学べ、生徒にとっては生徒会活動などで、また教員や保護者にとってはPTA活動や授業などで活かすことができる研修となった。

## 3 今後の課題等

- ①事前の計画作成・推進日程などの早期作成と早期準備。
- ②PTAとの協力体制の構築と密な連携。
- ③事業の趣旨や内容・全体の流れなどについての事務局とPTAの共通認識。
- ④参加校・参加者への十分なフィードバック。  
(終了後のアンケート実施、ふり返しシート作成など)



